

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校	校長名	若杉 友美
------	---	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

**共に育てる 自立と輝き** ～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・学校、保護者、地域の方々と共に、さらに児童生徒同士、児童生徒が自分自身を、育て、成長すること
- ・児童生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がること
- ・自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めること

(2) 目標具現化の柱

- ア お互いを大切にし、安全に安心して学習できる、居心地の良い学校 (安全)
- イ 児童生徒の強みや持ち味を理解し、夢に近づくための指導及び支援ができる学校 (専門)
- ウ 地域や関係機関等と確かなつながりを持ち、共生社会の実現に貢献する学校 (連携)
- エ アサーティブに伝えあい、ワークライフバランスの下、教職員が常に学び続ける学校 (チーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安全	こどもの人権を尊重した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員人権目標の周知と実行</li> <li>・職員が周囲の声から省察する機会作りや学年会での人権研修目標の振り返り</li> <li>・さん付、挨拶、「ありがとう」の徹底</li> <li>・不要物の廃棄とスペースの有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の尊厳を守る関わりが徹底されている</li> <li>・分かりやすく、居心地が良い教育環境が整備されている</li> </ul>	生徒指導課 総務課 主任会
	命を守る、体制強化と行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故後やヒヤリハット時の正確かつ迅速な情報共有と再発防止策の検討</li> <li>・「未然防止の3ステップ」の周知</li> <li>・個に応じた避難方法の想定とそれができるための指導</li> <li>・専門家による講義や評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、状況確認と責任追及は違うことを理解し、未然防止のための詳細な状況確認を迅速に行っている</li> <li>・職員と児童生徒は、緊急時、および発令・発災・避難所開設時等の対応を理解し、行動できる</li> </ul>	保健給食課 総務課 防災防犯課
専門	児童生徒の強みを生かし、自己肯定感をはぐくむ指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の「流れ図」を用いた児童生徒の実態把握</li> <li>・研修に基づく生成AIを用いた個別の指導計画の作成と活用</li> <li>・各教科等を合わせた指導の授業場面での、強みを生かした姿の見取り</li> <li>・専門家を招聘した自立活動の充実</li> <li>・進んで楽しく取り組む体育の授業の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、児童生徒の自立活動の目標と、今持っている力や得意なことを生かした達成方法を、保護者に丁寧に伝えている</li> <li>・個別の指導計画が、児童生徒への適用について熟議され実施されている</li> <li>・児童生徒が、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を楽しみにし、願いを叶えようと持てる力を存分に発揮して取り組んでいる</li> <li>・児童生徒に、夢の実現に向けて必要な体力が育まれている</li> </ul>	自立活動課 研修課 体育課 (情報教育課)
	つながりのある支援と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートについての研修や活用についての意見交換の充実</li> <li>・「12年間のつながり検討会」での学部を超えた職員の対話</li> <li>・学部間交流等、他学部を知る機会</li> <li>・一人一台端末の使用についての、現状や成果と課題の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がそれぞれのステージで自己理解を深め自分の夢を抱いている</li> <li>・学習の中でこれまで培ったどんな力が生かされ、どう将来につながっていくのかを、保護者に伝えている (お便りも含む)</li> <li>・児童生徒の目標達成のために一人一台端末が活用されている</li> </ul>	教務課 研修課 情報教育課 (進路指導課)
連携	自立と輝きに向けた発信と協働の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の応援による教育活動の充実と本校の地域貢献についての周知の工夫</li> <li>・多様な発信方法の模索と実施</li> <li>・支援会議の目的の明確化と、時期、参加者、進行の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の協力で本校が地域で、地域における役割を果たしていることを、職員と保護者が理解している</li> <li>・本校の取組の良さが発信されている</li> <li>・支援会議後、今後の方針と役割分担が明確になり実践されている</li> </ul>	地域連携課 進路指導課
	児童生徒が地域でよりよく生きていくための共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意な学び方の発信による、交流および共同学習の充実</li> <li>・職員が、豊かな地域資源・福祉資源を理解し活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種交流の活動に打合せで伝えた児童生徒の「得意な学び方」が生かされている</li> <li>・地域貢献や地域資源を活用した学習に、児童生徒が意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	地域連携課 進路指導課
チーム	一人一人が持ち味を生かしあい、同じ目的に向かって高め合うチームの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全退庁時刻 (19:15) の実施</li> <li>・時間外勤務削減の好事例の共有</li> <li>・自分の強みを明確にした自己目標の設定</li> <li>・お互いの強みの共有と感謝の機会</li> <li>・経営計画実現への事務執行状況の共有と円滑な業務遂行のための協働</li> <li>・アサーション研修の共有と活用</li> <li>・「沼特マインド」の浸透とチーム力アップ計画の遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全退庁時刻遵守90%が、職員の心の健康や余裕に繋がっている</li> <li>・職員が、自分の持ち味を生かして働き、地域のインクルーシブの推進に貢献できていると感じている</li> <li>・職員が事務関係の掲示板や連絡に必ず目を通し迅速に対応している</li> <li>・日々学び続けている職員が、こどもたちのために必要なことをアサーティブに伝えあっている。</li> </ul>	主任会 事務部 業務改善委員会